

大切なのは相互理解と伝えたい気持ち

世界にはさまざまな言語がありますが、私たちにとっての言語は手話です。そのような中、嬉しいことに以前と比べ、健常者が私たちに気軽に話しかけてくれることが増えました。手話での会話は、外国語と同様、想いがあれば身振りや手振りでも十分に伝わるので、そのような方がもっと増えればいいなと思っています。

また、互いの文化を知ることが大切だと考えます。私たち聴覚障がい者は声を発せられないため、肩を叩くなどのスキンシップは自然なことですが、健常者にとって

はケースバイケースであることを、私自身もあいサポート運動を通じて知ることができました。

このまちがさらに愛のあるまちになっていくためには、相互理解と伝えたい気持ちが浸透していくこと。それが「ちょっとした手助け」につながるのだと思います。

大澤 秋良さん

富士見市聴覚障害者の会代表

生まれつき聴覚障がいがある。平成6年から富士見市聴覚障害者の会の代表として、会の振興と障がいの理解促進に努めている。



人と人が気軽にふれあえる社会へ

障がいの種類によって困りごとは異なりますが、私たち視覚障がい者は状況把握が苦手で、工事現場や踏切は特に不安です。近所の親しい方々からさまざまな形でサポートがあり、大変感謝しています。一方で、私はゴミ当番などが

長澤 泰代さん

生後発症した高熱により視覚に障がいが残る。同じく視覚に障がいのある夫・行雄さん(表紙参照)と「カツセ治療院」(あんま・マッサージ)を営むかたわら、あいサポート運動の当事者メッセンジャーとしても活動中



できず、地域の役に立てていないことをもどかしく感じます。あいサポート運動のメッセンジャーとしてお役に立てれば幸いです。

市であいサポート運動が始まってから4年余り。手助けをしてくれる方は増えました。障がいのある方もない方も一市民という考えのもと、障がい者は「頼んだら甘えていると思われる」と遠慮せず、そして健常者は「断ったら配慮のない人だと思われる」といった義務感を感じず、互いが気軽にYES・NOを言える社会になることを望んでいます。

この法律は、行政機関や事業者が対象ですが、差別をなくしていくことはすべての人に求められる責務でもあります。一人ひとりが障がいについて理解し、障がいを理由とした不当な区別や制限といった差別に気づき、解消してい

います。国や地方自治体は、障がいのある人への不当な差別的取扱いをしてはならないことや、障がいのある人たちの社会参加を妨げているさまざまな障壁を取り除くために必要な配慮(合理的配慮)を提供しなければならぬことなどが定められています。また、民間事業者においても不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供を求めています。

平成28年4月1日から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が施行されました。

障害者差別解消法とあいサポート運動

に認定されているほか、今年度からはウエルシア薬局が研修会場の協力を開始するなど、徐々に広がりを見せています。

ちょっとした手助けがつくる「あい」のあるまち

— 広がるあいサポート運動 —

障がい福祉課 ☎ 372

富士見市では平成26年から

さまざまな障がいを正しく理解し、障がいのある人へちょっとした手助けや配慮を行うことで、誰もが暮らしやすい地域社会をつくっていく「あいサポート運動」。また、これらを実践する人を「あいサポーター」といいます。市では、障がいのある人もない人も暮らしやすい社会の実現を目指し、あいサポート運動の推進に取り組んでいます。

あいサポート運動を始めたのは鳥取県。「私(私)がサポートする」「愛をもってサポートする」という意味を込めて名付けられたこの運動は平成21年から始まり、現在は全国に展開されています。本市では平成26年10月16日に鳥取県と協定を結び、同時に協定を締結した三芳町や、富士見市社会福祉協議会と連携してあいサポーター研修会を開催しています。平成31年4月末日までに5千748の方があいサポーターとなりました。また、これまでに10か所の企業や団体があいサポート企業・団体



あいサポートバッジ
(障がい者サポーターシンボルバッジ)

あいサポーター研修受講者に配布される。ベースの橙(だいたい)色は、「だいたい(代々)」にちなみ、あいサポーターが広がって共生社会が実現されることへの期待が込められている。

令和元年度のあいサポーター研修日程(予定) ※無料、申込不要

Table with 2 columns: 富士見市会場 and 三芳町会場. Each column lists dates, times, and locations for training sessions.

あいサポーター研修会場拡大のお知らせ

今年度は曜日を問わず毎月11日に次の会場で研修を行います。
【奇数月11日10:00~11:30】ウエルシア富士見鶴馬店
【偶数月11日10:00~11:30】ウエルシア富士見鶴瀬東店



おもな「障がい」の種類

- 【視覚障がい】 視機能に障がいがあること。まったく見えない場合と見えづらい場合などがある。
【聴覚・言語障がい】 聴覚や言語能力に障がいがあること。聴覚障がいにはまったく聞こえない場合や聞こえにくい難聴の場合などがある。
【盲ろう】 視覚と聴覚の両方に障がいがあること
【肢体不自由】 手足・腰・首・脳などに損傷を受け、歩行や日常の動作に不自由があること
【知的障がい】 知的な能力が年齢相応に発達しておらず、社会生活への適応に困難があること
【精神障がい】 統合失調症やうつ病などの精神疾患により、幻覚や妄想、不安感、不眠などが認められる場合など
【内部障がい】 身体障害者福祉法に定められた次の7種類の内臓機能障がい
・心臓機能 ・呼吸器機能
・腎臓機能 ・小腸機能
・肝臓機能 ・免疫機能
・ぼうこう・直腸機能

あいサポート運動メッセンジャー研修

あいサポート運動を広める講師(メッセンジャー)を養成する講座です。
とき/7月18日(木)
午後1時30分~3時30分
場所/市民福祉活動センターばれっと
対象/あいサポーター研修を受講した方
定員/20人(無料、申込順)
申込み/7月12日(金)までにFAX、直接または電話で
富士見市社会福祉協議会
049-254-0747 FAX 049-252-0111

障がい者シンボルマークの一例

- 【障がい者のための国際シンボルマーク】 障がいのある方々が利用できる建築物や公共交通機関であることを示す世界共通の国際シンボルマーク
【盲人のための国際シンボルマーク】 世界盲人連合(Wbu)が定めた世界共通の国際シンボルマーク
【子ども用車いすマーク】 背もたれがあり介助者が操作するタイプの車いす「福祉バギー」を表すマーク
【ヘルプマーク】 障がいや妊娠などにより援助や配慮を必要としていることを周囲にお知らせするマーク



みんなが築いていく「あい」のあるまち
日常生活でちょっとした手助けをして誰もが暮らしやすい地域社会をつくる。例えば、点字ブロックの上にものを置かない。電車やバスなどの優先席付近では携帯電話は使用しないなど、私たちが手助けできることはたくさんあります。
令和の時代も誰もが希望の花を咲かせられるよう、『障がいのある人もない人も、ともに生き、ともに支えあうまち ふじみ』を目指して「あい」のあるまちを築きましょう。

誰もが暮らしやすい愛のあるまちに

地域の障がいのある方に寄り添えたらとの想いで受講したあいサポーター研修。そこで当事者メッセンジャー(障がいのある講師)の生き活きと前を向いた生き方や考え方に接し、その姿勢を多くの方にお伝えするためメッセンジャーを続けています。

障がいのある方の生活の場は、ちょっとした配慮や手助けがあれば大きく広がると思います。接客業の企業や団体にもあいサポート運動の輪が広がり、誰もがともに暮らしやすい愛のあるまちになることを願っています。



大槻 節子 さん

あいサポートメッセンジャー
受講した当研修の当事者メッセンジャーに共感し、自身もメッセンジャーとして精力的に活動中



小スペースから地域貢献につなげる

地域貢献の一環として、地域住民や高齢者、福祉団体などに店内の小スペース「ウエルカフェ」を活動場所として提供しています。また、薬剤師や管理栄養士が出張講座に出向き、健康相談などで地域住民と気軽に交流しています。

4月から市内2か所のウエルカフェで「あいサポーター研修」が始まりました(5ページ参照)。富士見市社会福祉協議会から研修会場のご相談があり、地域のお役に立てればとお受けしました。従業員もあいサポート運動のちょっとした手助けや配慮を学ぶことで、店内での対応にも活かされると考えます。

宮崎 進一 さん

ウエルシア薬局株式会社
営業統括本部 地域包括推進部
地域包括ケア担当
ウエルカフェの活用を推進するため、関東・東北を中心に精力的に活動中

地域貢献や地域参画のモデルケースとして定着し、官民協働で地域の障がい者や高齢者の暮らしが守られる社会になれば素晴らしいと思います。

心にバリアフリーを

障がいは、多種多様で一律ではありません。複数の障がいを持っていたり、外見ではわからない障がいもあります。
それらの障がいは、誰にでも生じ得るものですが、障がいについてどこか他人事であったり、遠い世界のことだと思ってしまうかもしれません。障がいを自分のこととして考え、健常者と障がいの垣根をなくしましょう。それをバリアフリーといいます。そして、自分自身や相手のありのままを認め合う社会を実現しましょう。
市では、「あいサポーター研修会」を毎月開催しています。研修会では、障がい当事者からのお話やDVD鑑賞などにより、障がいの特性をはじめ、声掛けや手助けが必要な場面や簡単な手話などを90分間で学びます。そして、あいサポーターとしてバッジを受け取